

中間試験

2003.6.19

【回答上の注意】

- ① 他の回答者の画面が見えないよう、互いに離れて座ること
- ② コンピュータで回答を書き、印刷して提出
- ③ Word が使えることを確認
- ④ 小数の回答については、小数第 1 位まで書くこと
- ⑤ 何を持ち込んで参照してもよいが、人に相談してはならない

問 1 年齢が 50 歳以下のグループと 51 歳以上の 2 グループにデータセットを分割して分析したい。SPSS でこの操作をするときに必要なシンタックスを書け。ただし年齢の変数名は q1_2a である。

問 2 次の対概念について、それぞれどういう違いがあるかを簡単に説明せよ。

- (1) 「実験」と「観察」
- (2) 「記述統計」と「推測統計」
- (3) 「順序尺度」と「間隔尺度」
- (4) 「母集団」と「計画標本」

問 3 男性 250 人、女性 300 人を対象にしたある調査結果によると、よくお酒を呑む者の率は男性では 76.0%、女性では 65.7%であった (欠損値はないものとする)。この結果に基づいて、次のようなクロス表を作成せよ (ただし%のところには行%を書くこと)。

	よく呑む	呑まない	合計
男性	人数	人数	人数
	(%)	(%)	(%)
	期待値	期待値	
	残差	残差	
女性	人数	人数	人数
	(%)	(%)	(%)
	期待値	期待値	
	残差	残差	
合計	人数	人数	人数
	(%)	(%)	(%)

中間試験 解答例

2003.6.19

問 1

RECODE

q1_2a

```
(Lowest thru 50=1) (51 thru Highest=2) INTO age2 . ← 新変数名はなんでもよい
EXECUTE .
```

SORT CASES BY age2 .

SPLIT FILE

LAYERED BY age2 .

問 2 次の対概念について、それぞれどういう違いがあるかを簡単に説明せよ。

- (1) 条件を人工的に統制するのが「実験」、しないのが「観察」
- (2) データの特性を要約して示すのが「記述統計」。
データに含まれる誤差を推測するのが「推測統計」。
- (3) 「順序尺度」の値の配列には一定の順序があるが、値の和や差に意味はない。
「間隔尺度」の場合、値の和や差をとることに意味がある。
- (4) 母集団：検討しようとしている対象の集団全体で、その範囲が確定しているもの
計画標本：母集団から何らかの方法で抜き出した実際の調査対象

問 3

	よく呑む	呑まない	合計
男性	190	60	250
	(76.0)	(24.0)	(100.0)
	175.9	74.1	
	14.1	-14.1	
女性	197	103	300
	(65.7)	(34.3)	(100.0)
	211.1	88.9	
	-14.1	14.1	
合計	387	163	550
	(70.4)	(29.6)	(100.0)